

8月3日(土)発行

15
YEARS
1904-2019

ミューザ開館15周年!

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊

若い世代の可能性を堪能する一夜!



©藤井泰生

【8/2:PMFオーケストラ】

約60分、緊張の中で音楽が目まぐるしく変化し続け、オーケストラに対して「これはできるか?これならどうだ?」とばかりに実力試しを強いるようなショスタコーヴィチの交響曲第4番が終わると、恐ろしいまでの静寂、そしてほぼ満員の客席から送られる惜しみない喝采。指揮者のワレリー・ゲルギエフが手を振ってステージを去ると、舞台上の楽員が互いの健闘をたたえ合って握手とハグを繰り返す。

今年も北海道の札幌において、7月4日から約1か月。世界各

国から若い世代の音楽家たちが集まって、合宿生活を行いながら音楽を極めてきたアカデミー型音楽祭『PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)』。その最後を飾るのが「フェスタサマーミュージック」でのコンサートとあって、ステージ上の音楽家たちは感慨深かっただろう。

1936年に完成しながら25年間も初演されなかったというショスタコーヴィチの交響曲第4番だが、オーケストラに多種多様な表現力を求める難曲でもある。弦16型と拡大した4管編成の巨大なPMFオーケストラはハイスペック

な演奏力で長大なドラマを創造し、聴衆を圧倒した。ほかに、濃厚な表現で描いたドビュッシーの「牧神の午後への前奏曲」。そして今年の『チャイコフスキー国際コンクール』木管部門の覇者であるフルーティスト、マトヴェイ・デョーミン(実に多彩な音色!)をソリストに迎えてイベールの協奏曲を。若い世代の可能性を堪能する一夜だった。

(オヤマダアツシ/音楽ライター)

来場者の声

若い人たちの演奏、素晴らしかったです。フルートのデョーミンさん、大柄だけど暖かくて心休まる優しい音色です。心一つになったショスタコーヴィチ、ブラボーです。どの楽器の音色もしっかりして皆で作上げた感が伝わってきました。(60代・YK) / 本当に凄かった!ショスタコNo.4、初めて生で聴きました!若い力がすさまじいパワーでしたね!ブラボー(50代・ショスタコの大ファン) / 初めてのオーケストラ。音が全身を包んで駆け抜けていく爽快感!はまりました!また来ます!(20代・みるきー) / 娘に誘われ初めてオーケストラを聴きました。感動しました。まるで物語を描いているようで素敵でした。指揮・演奏、全て良かったです。フルートのマトヴェイ・デョーミンさん、まるで口笛を吹くように軽く素敵な音をありがとうございました。(50代・Yon)

《謹製》15周年でぬい:800円(税別)

★サマーミュージック期間限定!
友の会会員なら特別価格500円(税別)
ホール1階フレリユードにて販売中!

MUZA KAWASAKI SYMPHONY HALL

仙台フィルハーモニー管弦楽団 ～東北の雄が川崎にやって来る!～

8/4(日) 15:00開演(14:00開場) ミューザ川崎シンフォニーホール

NEXT!
サマーミュージック
明日のチケット情報



指揮/高関 健



ヴァイオリン/郷古 廉

- ストラヴィンスキー:サーカス・ポルカ
- チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲
- チャイコフスキー:交響曲第4番

♪ [プレ] 14:20~14:40 指揮者によるプレトーク

B席のみ 100枚程度

S席 売り切れ

A席 売り切れ

B席2,000円

U25(小学生~25歳):各席半額

◎ 電話予約:なし

◎ 4階カウンター/10:00~13:30販売

◎ 当日券カウンター14:00~販売

※13:30~14:00の間は販売を休止いたします

ミュートンも来るよ!
・14:00~14:30
・終演後



当日券あり

モーツァルト26歳の作品をめぐる!

数多くの作品を残したモーツァルトの当たり年1782年。モーツァルト・マチネ第40回では、その1782年を一挙にお届けします。



モーツァルトがこれら作品を書いたと同じ年齢の頃、原田さんは音楽祭等にて次々と受賞。若くして才能を認められた、現在人気急上昇中の指揮者です。共演はこちらも若くから活躍しているピアニスト金子三勇士さん。若かりしモーツァルトの響きを、注目の若手指揮者&ピアニストで、ぜひお楽しみください! (事業課も)

◆モーツァルト・マチネ 第40回
2020年3月14日(土)11:00開演
指揮:原田慶太楼
ピアノ:金子三勇士
管弦楽:東京交響楽団
＜オール・モーツァルト・プログラム＞
フルート四重奏曲第3番 K. 285b
交響曲第35番 K. 385 「ハフナー」
ピアノ協奏曲 第13番 K. 415 (387b)

[料金]全席指定 3,500円
U25 1,000円(小学生~25歳以下)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756年-1791年)は断片も含めると生涯に700以上もの曲を作った多作家でした。初めて作曲したのはわずか5歳。1分弱ほどのアンダンテ ハ長調 K. 1aというクラヴィーアのための作品です。

モーツァルト・マチネ第40回では、そんな天才モーツァルトが26歳の時に作曲した作品を取り上げます。指揮者を務める原田慶太楼さんから今回のプログラムについてコメントをいただきました。

「26歳のモーツァルトにとって1782年は変化のある年でした。ウィーンに渡りピアニストとして名を馳せ、この年にコンスタンツェと巡り合い、結婚し、大人として成長した年でもありました。バッハとヘンデルの楽譜と出会い、大変刺激を受け、後の作品に影響を及ぼすことになりました。その1782年を代表する3曲を紹介したいと思います。」—原田慶太楼



パートナーショップのご紹介 エンジョイ! 川崎!!

Enjoy Kawasaki

▼ハーフ&ハーフピッツァ 880円
スモークチキンとアボカド&イワシと黒オリーブ



お洒落なピッツェリアで 自慢の窯焼ピザ

今日はアゼリアにある、窯焼きピザが自慢のお店BOCCAをご紹介します。店内は開放感があり、レンガ造りの内装でお洒落な雰囲気。

早速、自慢のピザを注文。高温の石窯で焼き上げるピザは、外は程よく焦げ目が付き、生地はモチモチ。チョイスしたイワシと黒オリーブのピザは臭みもなく、イワシの旨味が口いっぱいに広がり、トマトとチーズの酸味&甘味が絶妙なバランスでした。ハーフ&ハーフ可能なため、色んな種類のピザが味わえるのも嬉しいポイント!プラス100円でドリンクとサラダorスープ



▶生バスタランチ 1180円
ナポリ風 ホンピノス貝とフレッシュトマトのボンゴレ

が付くというお得なランチに大満足でしたが、Bar(バル)のような雰囲気、お酒に合いそうなサイドメニューも豊富なので、次回は夜に伺いたいと思います。

(管理課 I)

BOCCA ピッツェリア

▶ リスト P.15 掲載

📍 川崎アゼリア

🎁 パートナーショップ特典

1ドリンクサービス

グラスワイン、ハイボール各種、スパークリングワイン、ソフトドリンク各種

ミュージック公式インスタもフォローしてね!

Instagram

ミュージック川崎シンフォニーホール

旅するミュートン!



サマーミュージック 今日(8/3(土))NHK交響楽団のコンサートのリハーサルが行われている、東京・泉岳寺のN響高輪演奏所に! 明るく気さくなマエストロ、原田慶太楼さんは指揮の仕方を教えてくれたよ! 今日からボクも指揮者。うれしかったトン!

#旅するミュートン #ミュージック開館15周年 #日本のオケを旅してます #N響 #原田慶太楼 #オーケストラのある生活 #オケ公式もチェック



友の会
キャンペーン
実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中(8/12まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

ミュージック友の会

・年会費3,000円
・チケット割引
・先行予約
など、お得な6つの特典あり!
詳しくは友の会入会窓口(ホール 歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現・会員の方に プレゼント!

サマーミュージック公演にご来場の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】をプレゼント! DM同封の引換券をお持ちください(1枚につき1本お引換)



サマーミュージック公式サイト

https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/



#サマーミュージックで投稿してください!



Twitter: @summer_muza



Facebook: @kawasaki.sym.hall



Instagram: @muzakawasaki

は
花堤(はなづみ)の
付点音符で
走る子ら
(中西英二 無職)
川崎おんがかるた製作中
<2019年末販売>

お味が気に入ったら、公演後に川崎探訪がてらお店を訪ねてみてくださいね。(管理課 m)



「写真右から」薄紅の口裏、1623、「黒い海龍」各800円(税込)

昨日の感動をお届けします!!

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

今年のサマーミュージックでは、ドリンクコーナーで新たに川崎の地ビールを置いていきます。造っているのは、旧東海道沿いに昨年12月オープンした「東海道田口川崎工場」。先日、暑気払いと称して同僚と探検に行きました。いつも満席との噂を聞いたので17時に勤務が終わると同時にお店に直行するも、着いたのは開店前。17時半の開店を睨みながら待つ待ちました。私はビールが大好き! お店に入ると、カウンターの向こうに窯がドーンとお洒落すぎるインテリアもテンションが上がります。こだわりの詰まったビールが美味しいのはもちろん、尊敬する仲間といただくお酒は一層美味。二人で気兼ねなく飲むのもまたよし。豊かな香りや旨味のあるビールをミュージックで味わえば、オーケストラの響きもさらに醸成されて聴こえることでしょう。醸造技師さんも音楽がとってもお好きなんだとか。

スタツフ日誌